

2026 年 4 月～6 月 活動報告

天塩町地域おこし協力隊 前川康生

今年度の資料館の開館が始まり、入館者数は昨年度と同程度で推移している。4 月～6 月は、イベントに向けた準備業務が中心となり、表に出る活動は限られたが、8 月以降の事業を確実に成功させるための基盤づくりを進めている。

1. 活動内容・業務進捗

① 令和 8 年度宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」

展示パネルとは別に、写真パネル 4 枚の提出を行った。この際、本山協力隊の協力もあり、照明の調整や画質の最適化など、自分だけでは対応が難しかった細かな撮影作業を行うことができた。

天塩での開催は 9 月～10 月を予定している。社会福祉会館小会議室での開催を計画している。今後、枝幸町または稚内市での巡回展会場を下見し、展示方法や導線の工夫など、開催のヒントを得たうえで天塩町の会場レイアウトに反映させたいと考えている。

また、天塩町独自のパネル制作にも着手する予定である。時間的な猶予はあるものの、巡回展全体の完成度を高めるため、できる限り早期に取り組みを進めたい。

② 資料館 開館告知動画の撮影

4 月 3 日、本山協力隊の提案・協力を得て、資料館の開館告知動画を撮影した。4 月 6 日には、完成した動画を各種 SNS にて公開し、資料館の開館告知として広く周知を行うことができた。

③ 出張！天塩川歴史資料館（天塩小学校） 第一弾「天塩の地名の秘密」

天塩小学校より「未使用の掲載棚を展示スペースとして活用できないか」との相談を受け、6 月から展示を開始した。

第一弾のテーマは「天塩の地名の由来」とし、町名の意味を知る機会をつくることを目的として構成した。しかし今回は資料展示がなく、文章中心の内容となったため、小学生が立ち止まって読むには難しかったとの意見があった。

このため、今回は資料展示を追加し、パネル枚数を減らすことで、より興味を引きやすい

展示となるよう改善を図る。



④ 「昆虫標本作製体験」講座

8月12日～13日の2日間で開催を予定している。講師として利尻町立博物館の学芸員を招聘することが決定しており、現在、講座内容について専門的な助言を受けながら準備を進めている。標本作製の工程や必要資材の確認など、専門性の高い内容を事前に整理し、参加者にとって分かりやすく安全な講座となるよう調整を行っている。

⑤ 天塩高校 総合的な探究の時間 地学協働コーディネーター

昨年度は、前任の地学協働コーディネーターである林正憲先生から、活動の進め方や学校との関わり方について多くの助言をいただきながら業務を行っていた。しかし今年度は、地学協働コーディネーターが私一人となり、林先生はアドバイザーという立場へ移行した。そのため、コーディネーターとして主体的に判断すべき場面、意見すべき回数が増え、より責任の重い体制となった。

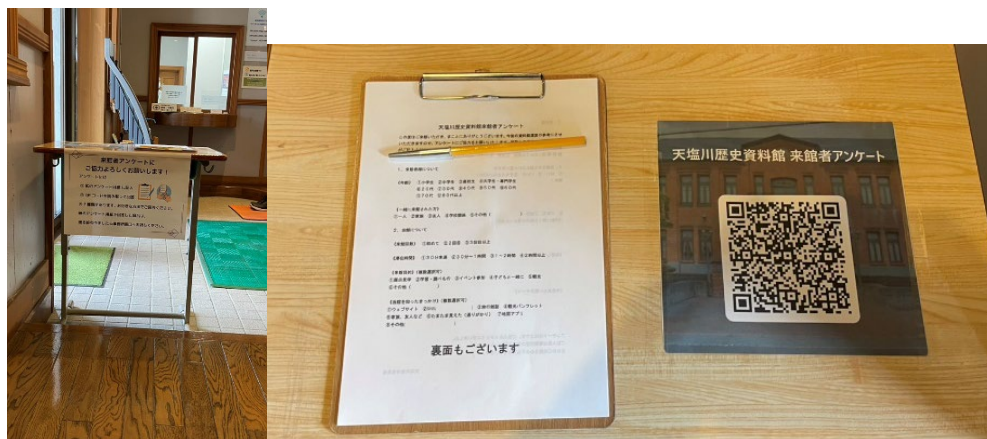
生徒の様子は毎週というわけではないが、できる限り高校へ足を運び、授業や活動の様子を把握するよう努めている。継続的に生徒の変化や取り組みを観察することで、協働活動の方向性や支援の必要性を早期に把握できるようにしている。

⑥ 天塩ふるさと学びプロジェクト

昨年度、天塩小学校 4 年生が資料館へ見学に来ていたことをきっかけに、小学生の郷土愛を育む学習機会をつくれないかと考え、3 学期の社会科単元「地域で受け継がれてきたもの」において、資料館が以下の内容で協力することとした。

- ・更岸、北川口の干拓史や農耕地の歴史、酪農が発展した背景
- ・天塩川の流路変化（北川口・振老付近）および農地化の経緯
- ・ペンケ沼・パンケ沼の歴史
- ・天塩町の古い祭り（鎮魂祭など）の調査を行い、可能な場合は語り部との交流を実施する方向で検討

⑦ 資料館 来館者アンケートの設置（令和 8 年度版）



今年度も、資料館に来館者アンケートを設置した。

昨年度は観光に関する項目も含めていたが、今年度は資料館の利用実態をより詳しく把握するため、資料館に係る質問項目を増やした。

追加した主な項目は以下のとおりである。

- ・ご一緒に来館された方
- ・滞在時間
- ・来館目的
- ・満足度
- ・改善してほしい点
- ・今後見たい展示テーマ

これらの項目を通じて、来館者のニーズや評価をよりの的確に把握し、今後の展示改善や企画立案に役立てていく。

⑧ 考古学出前講座

昨年度より、資料館の講座として「勾玉づくり」を企画していた。同時期に北海道立埋蔵文化財センターから考古学出前講座の案内があり、内容が重なることから実施申し込みを行い、8月22日に開催することが決定した。

現在、チラシを作成し、町内への周知に向けて準備を進めている。出前講座では、センター職員による講義と体験学習が実施される予定であり、専門的な内容を子供たちが学べる貴重な機会となることが期待される。

⑨ 道みんの日 企画展 「松浦武四郎 探究心のはじまり」

今年度も、道みんの日に合わせて資料館でイベントを実施することが決定した。今年度は小規模ではあるが、企画展「松浦武四郎 探究心のはじまり」を開催する。7月16日～18日の3日間は入館料を無料とし、企画展に関連したクイズコーナーを設ける。全問正解者には、天塩町オリジナルグッズをプレゼントする内容となっており、道みんの日を契機に町民や来館者が松浦武四郎の探究心や北海道命名の背景に触れられる機会を提供する。

2. 研修、出張

- ・道内地域おこし協力隊員向け制度・施策説明会 4月27日 オンライン
- ・令和8年度 第1回地学協働コーディネーター研修 6月12日 オンライン

- ・宗谷管内学芸職員連絡協議会 総会・研修会 5月20日～21日 利尻島

今年度も、宗谷管内学芸職員連絡協議会の総会・研修会にオブザーバーとして参加させていただいた。総会では各市町からの報告が行われ、研修会では利尻町立博物館と収蔵庫（旧仙法志中学校）を見学させていただき、今後の活動における参考となった。



- ・留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク総会 5月22日 留萌市



- ・留萌観光協会「るもい未来観光創生セミナー」 6月24日（講師として参加） 留萌市

3. その他

・天塩町ビアガーデンプロレス 2026

開催準備は順調に進行している。商工会青年部の月例会に出席し、企画内容を説明したうえで、寄せられた意見を踏まえて企画書の修正を行った。北都プロレスとの調整も継続しており、オンラインミーティングを通じて関係者間の顔合わせや具体的な運営面の確認を進めている。

大きな変更点として、会場が役場前駐車場となったことが挙げられる。ミレニアムパークと比較して虫の発生が少なく、運営上のメリットが期待できるためである。また、チラシ制作が完了し、順次告知を開始する予定である。開催当日に向けて、必要な準備を引き続き進めている。

4. 今後の方針

① てしお塾の準備

8月のイベント運営が終了次第、てしお塾の具体的な準備作業に着手する。

② 更岸小学校（廃校）資料の整理

更岸小学校に置かれている資料の整理を引き続き行う。

また資料の長期的な保管環境を確保するため、啓徳小学校（廃校）への資料移動の可能性も視野に入れながら、収蔵スペース・環境条件・作業動線などを踏まえた移設の可否を検討する。

③ 天塩町の歴史・文化に関する調査研究

町内の歴史・文化資源について、継続的な調査研究を進める。

特に、元樺太出身者への聞き取りや、昭和15年の津波に関して等、成果を企画展や学校連携事業に還元する。

④ 天塩小学校での出張展示の充実

「出張！天塩川歴史資料館」について、回数を重ねるごとに展示内容の充実と教育的効果の向上を図る。児童の反応や先生方の意見を踏まえ、テーマ設定・展示構成等を改善し、学校教育との連動性を高める。